

平成28年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



海老名市立門沢橋小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家的人是、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

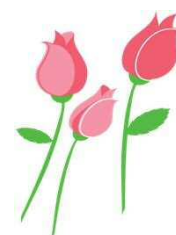
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成28年4月19日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 漢字の読みは相当数できています。
- 目的や意図に応じて、収集した情報を関係づけながら話し合うことができます。
- 目的に応じて、図と表を関係づけて読み取ることができます。

《努力を要する所》

- 漢字を正しく書くことについて課題があります。
- ローマ字を正しく書いたり読むことに課題があります。
- 登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることに課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができます。
- 目的に応じて本や文章を比べて読むなど、効果的な読み方を工夫することができます。

《努力を要する所》

- 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問をすることに課題があります。
- グラフを基に分かったことを的確に書いたり、自分の考えを書くことに課題があります。
- 文章の内容を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題があります。

これまでの取組から

- 家庭学習が習慣化しています。今後も学習全般において、さらに学年に応じた力を積み上げていくようにします。
- 引き続き、習得した漢字を読んだり書く機会を増やしていきます。

今後の具体的な取組について

- 3年生以上は、ローマ字の規則化を押さえ、繰り返し読んだり書く機会を増やします。
- 文章を読む際は、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読み進めるように指導します。
- 読む目的に応じて本を複数選び、比べ読みや摘読、多読などに取り組み、読む力をつけていきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 不等号を相当数の児童が理解しています。
- 小数の割り算の確かめ方を理解しています。
- 繰り下がりのある3位数－1位数の計算が確実にできます。
- 三角形の底辺と高さの関係を理解しています。

《努力を要する所》

- 割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係の理解が不十分です。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 面積を求める問題場面で、条件を変更した場合について、発展的に考えることができます。
- 正方形に円が内接する時の、円の半径について理解しています。

《努力を要する所》

- 角の大きさを基にして、式の意味を説明することが不十分です。
- 日常生活の事象を数理的に捉え、適切な式に表し問題を解決することに課題があります。
- グラフから正しい情報を読み取り、説明することが不十分です。

これまでの取組から

- 家庭学習の習慣化を一層図りながら、基礎的・基本的学習内容の習得をこれからも低学年から積み上げていきます。
- 問題文からその問題の場面を理解するために、併せて国語の学習や日常の言葉を大切にした指導を積み重ねていきます。

今後の具体的な取組について

- 日常生活の問題を乗法や除法の式、図形の性質を用いて判断する学習を充実させていきます。
- 既習事項を生かし、筋道を立てて考え、判断の根拠を説明できる経験を積み重ねていきます。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 学校の宿題は、相当数習慣化されています。
- 学校で好きな授業があると答えた児童が多いです。
- 算数の問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないかと考える児童が多いです。

《課題と思われる所》

- 文章を読むとき、まとめごとに内容を理解しながら読むことに依然として課題があります。
- 新聞はあまり読まず、テレビやインターネットのニュースを見る傾向があります。

生活について

《よかった所》

- 自分にはよいところがあり、将来の夢や目標を持っていると答えた児童が県の平均を上回っています。
- 学校に行くことや友だちに会うことに、多くの児童が楽しいと感じています。
- 友だちとの約束を守っている児童が多いです。

《課題と思われる所》

- 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していると答えた児童は、県平均より下回っています。
- 月曜日から金曜日、テレビゲーム（PC、携帯型、スマホ、携帯電話等）を1日あたり3時間以上おこなっている児童が3割を超えています。

これまでの取組から

- 読書活動を推し進め、言葉を豊かにしながら、授業における言語活動の充実を図ります。
- 音読や計算、漢字などの学習を家庭でも取り組み、習熟を図っていきます。

今後の具体的な取組について

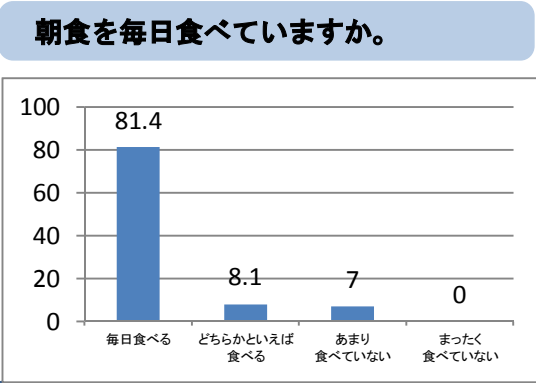
- 学校生活の様々な場面で、子どもたち一人ひとりの努力を大切にし、励まし、達成感が味わえるようにしていきます。
- 携帯電話やスマートフォンの子どもへの与え方や使用について、学校でも指導を行い、保護者への働きかけに努めます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

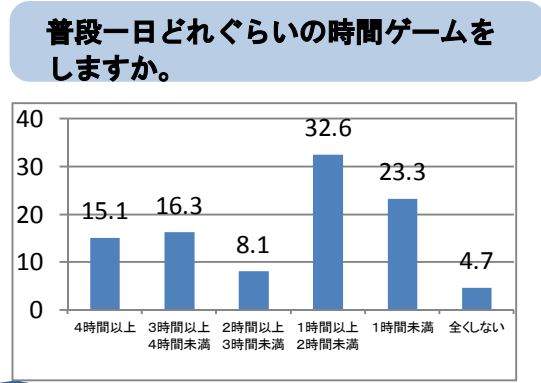
1 毎日、朝食をとりましょう。

授業に集中できるよう就寝時間、起床時間を決め、しっかり朝食をとって登校しましょう。



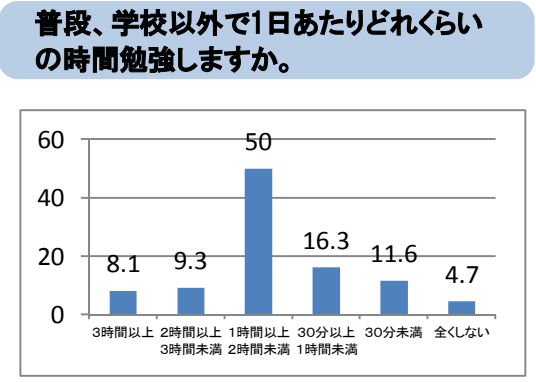
2 時間の使い方を見直しましょう。

ルールを決め、よい習慣をつけることは学力向上だけでなく、お子さんの可能性を広げます。



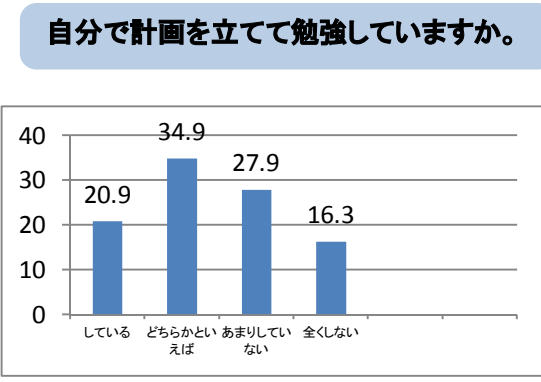
3 家庭での学習習慣をつけましょう。

学習状況を見守り、ほめて励ますことで家庭学習が習慣化するよう関わりましょう。(学年×15分)



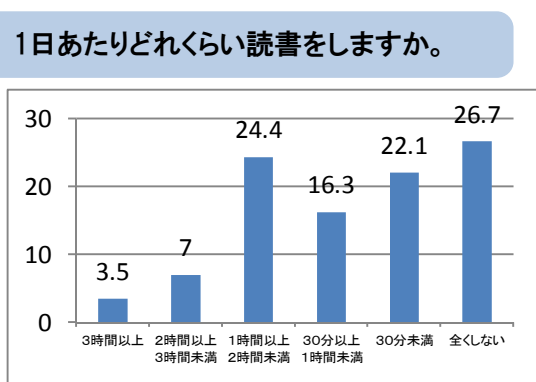
4 自分で計画を立てて取り組みましょう。

1日の過ごし方や勉強について、子ども自身が考え自ら取り組むよう励ましましょう。



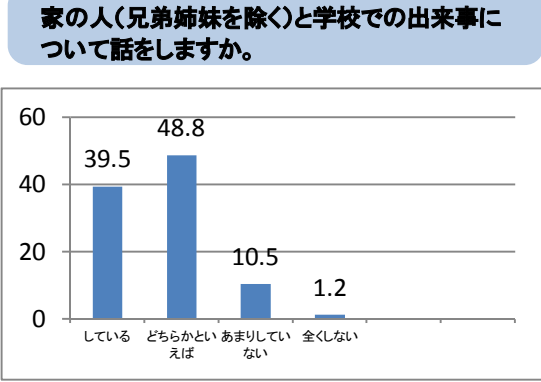
5 物語、詩、伝記、図鑑など様々な本を読みましょう。

読書を通して他者の考え、意見、事実を知ることができます。読書の習慣化を図りましょう。



6 子どもとたくさん話をしましょう。

社会の出来事や勉強、将来についてなど、親子で話し合うことが学力向上につながります。





平成28年11月